



環境省
エコアクション21
認証番号0010680

2017年度 環境活動レポート

(対象期間： 2017 年3月1日 ～ 2018 年2月28日)



想いをカタチに
O-ken-design

いいモノづくりは いい空間づくりから
我々は大阪の地場産業「モノづくり」を応援する建築会社です。

当社は、生野区巽を中心に東成区・平野区・東大阪市・八尾市など大阪東部地域の方々と共にあり、地場産業がかかえる問題に共に取り組むことで皆様と共に地域社会の「未来」を想造してまいります。

株式会社荻田建築事務所

Archi-Teck-Works
O-ken-design

作成日： 2018年4月17日



もくじ

■ 経営理念・環境方針

■ 組織の概要と認証・登録の対象

■ 社内コミュニケーション活動

■ 主な環境負荷の実績・環境目標

■ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

■ 代表者による全体の評価と見直し

■ 環境活動の取組



【経営理念】

- 我々は建物づくりを通して、顧客の永きに渡る「人生」に貢献し、共に歩む
- 我々は自らの成長を信じ、自らを表現し続けることで、新たな「自身」を開拓する
- 我々は地域と共に暮らし、広く世界と結び、豊かな「未来」を想造する

【環境への思い】

産業革命以来、人類は技術的革新を繰り返すことで、発展を続け豊かな生活を享受してきた。同時に地球資源を採掘・利用し、技術革新をすることで、また新たな資源を発見してきた。その歩みを止められるものではないが、今一度、その歩みを振り返ることも必要ではないかと考える。それは普段、便利に慣れ当たり前と思っていることに目を向け、資源エネルギー・環境について自らの問題として意識し、これまでと違った方策を考え、自主的・積極的に活動することで、より良い豊かな「未来」を想造する機会とする。

【環境方針】

1.具体的に下記のことに取り組みます。

- ① 電力および自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ② 資源を大切にするとともに、廃棄物の削減に努めます。
- ③ 節水に取り組みます。
- ④ 塗料溶剤等は有害な化学物質の低減に努めます。
- ⑤ 事務用品等のグリーン購入、建築資材のグリーン調達等に努めます。
- ⑥ お客様へ環境に配慮した材料、機器類の提案、採用に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3.環境方針は全従業員及び協力業者へ周知するとともに、取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、一般に公表します。

制定日：2014年9月25日

改定日：2014年12月11日

株式会社荻田建築事務所

代表取締役

荻田 晃久



■組織の概要と認証・登録の対象



(1) 名称及び代表者名 全社認証登録範囲（対象外無し）

株式会社荻田建築事務所

代表取締役 荻田 晃久

(2) 所在地

谷町事務 大阪市中央区安堂寺町1丁目2番17i-box3F

巽事務所 大阪市生野区巽東1丁目1番32

現場 概要は負荷のチェックシート参照

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者・担当者 荻田 直美 TEL：06-6777-7874

e-mail：n-ogita@o-ken-design.com

(4) 事業内容

工場・倉庫・テナント・戸建住宅等の設計及び施工管理、リフォーム

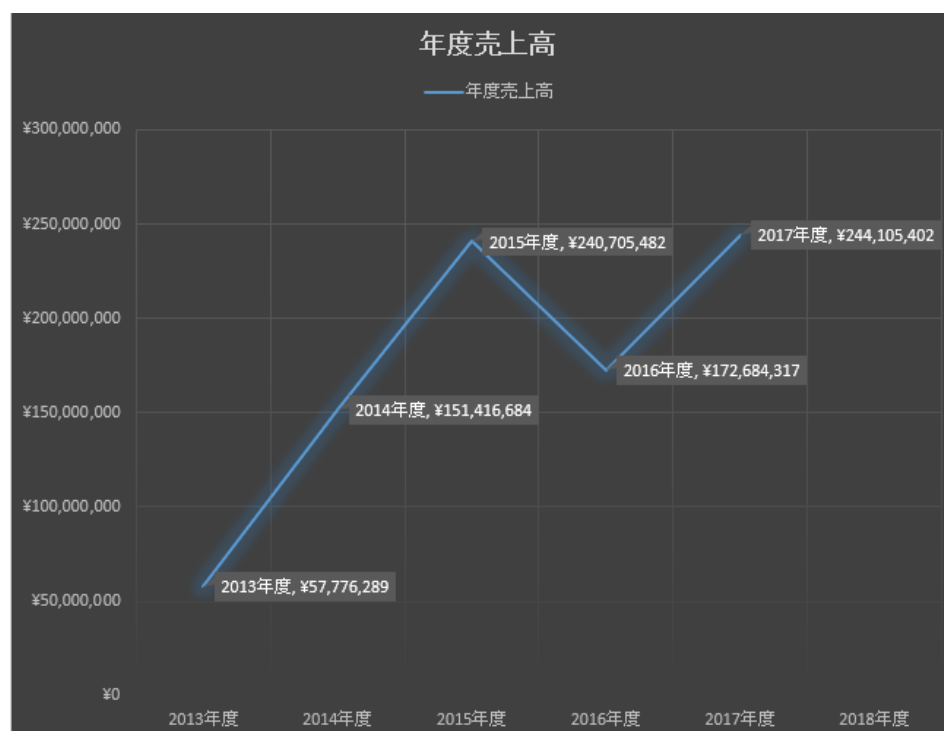
(5) 事業の規模

受注高 24 千万円

主要工事件数 新築工事 6件

改修工事 73件

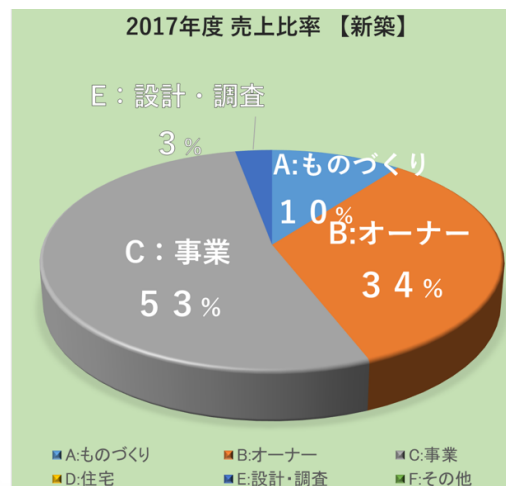
	谷町	巽	合計
従業員 (人)	2	4	6
延べ床面積 (㎡)	48	45	93





新築

A.モノづくり	1件
B.オーナー	4件
C.事業	1件
D.住宅	2件



改修

A.モノづくり	26件
B.オーナー	5件
C.事業	6件
D.住宅	11件
E.その他	25件



■社内コミュニケーション活動



社員旅行

10月



富山へ社員旅行。
テーマはものづくり。
鋳物会社の能作さんにて
体験してきました。

工場見学

11月



ものづくり企業への
工場見学。
プラスチック加工と、
製紙業の企業様の
工場を見学させていただきました。

イベント参加

11月



オープンナガヤ大阪2017
に参加。
路地を使って近隣の方々
との交流や空室の
内覧を行いました。

大阪市ハウジングデザイン賞授賞式

2月



巽NAGAYAが
第31回大阪市
ハウジングデザイン賞を
受賞。
その授賞式に参加しました。

■主な環境負荷の実績・環境目標



【主な環境負荷の実績】

項 目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	4,503	6,610	6,057
廃棄物排出量	kg	10,256	67,861	19,898
一般廃棄物排出量	kg	116	133	32
産業廃棄物排出量	kg	10,140	67,728	19,866
総排水量	m ³	4	10	14

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.514 kg-CO₂/kWh

【環境目標・実績】

項 目		年 度	基準値	2017年		2018年	2019年
			(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		1,176	1,164	917	1,141	1,129
	基準年比		2016年	99%	78%	97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		5,232	5,179	4,645	5,127	5,127
	基準年比		2016年	99%	89%	98%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		6,408	6,344	5,562	6,268	6,256
一般廃棄物の削減	kg		133	124	32	106	93
	基準年比		2016年	93%	24%	80%	70%
混合廃棄物の削減	kg		16,268	14,641	10,686	13,014	11,388
	基準年比		2016年	90%	66%	80%	70%
水道水の削減				行動目標による			
グリーン購入の推進	%			60%	61%	65%	70%
	—						
設計・施工の環境配慮				行動目標による			

* 灯油は含まない

* 建築資材は作業現場、受注工事によって変動するので数値目標に含まない

* 化学物質は自社の使用はなく、設計上の配慮と現場監視で適正管理しています

■環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	○	夏はサーキュレーター、冬はファンヒーターを導入するなど、局所暖房の取り入れにより、エアコンの設定温度を上げ下げして調整することが減った。今後は異事務所に電気メーターを取付、ヒーターの灯油との比較などを行っていききたい。今年度は78%だったので来期は80%に目標を修正する。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・空調フィルターの清掃	△	
・不要照明の消灯（事務所、現場）	○	
・中間期には窓の開閉を行う	○	
・パソコンは省電力設定とする	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	今期は個別に平均燃費を出し、基準年と比較した。個別に見直しを行い、エコドライブを心掛けていききたい。低燃費車を購入したので、来期から記録していく。車を相乗りすることによって、走行距離が減った。エアコンをつけることによる燃費の悪さについて、改善方法などを模索していききたい。今期は89%だったので来期は90%を目標にする
・自転車の利用	○	
・公共交通手段の採用	○	
・エコドライブ	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	「一般の燃えるごみ・古紙・プラごみ・ペットボトル」に区分し、分別を徹底したのち、一般の燃えるごみのみ（その他は再生利用廃棄物のため除く）数量を入力した。残す図面や資料をデータ化し、収納スペースの縮小を進めている。最終的にはペーパーレス化も視野に入れたい。来期も2016年度基準で25%を目指したい
・分別の徹底(事務所、現場)	○	
・両面コピーの採用	○	
・プリントアウト前のチェックによるミスプリントの削減	△	
混合廃棄物の削減		
数値目標	○	混合廃棄物として排出することが多いので、現場での分別をもっと細かくしていききたい。次の目標は受注内容により変動するので計画通り80%を目標とする。
・可能な限り現場合わせを減らす	○	
・可能な限り分別排出	△	
・マニフェスト管理（適正管理の監視）	○	
水道水の削減		
数値目標	○	お施主宅の水道を借りる場合の配慮に欠けていた。節水シールが貼れないため、節水プラカードを作成し、水道蛇口付近に掲げるなどし、お施主様への配慮を心掛けていく。
・節水シールの貼り付け	△	
・工事現場ではホースにストップバルブを取り付ける	○	



取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
グリーン購入の推進		
・ 有害性の少ない資材の購入	○	昨年は購入したものの全てを入力し比較を行ったが、文房具に項目を絞って、入力・比較を行うことにした。グリーン購入比率は向上している。エコカーも購入した。
・ 省エネ性能の高い電気製品の選択する	○	
・ 事務用品グリーン購入比率向上	○	
設計・施工の環境配慮		
・ 住宅の省エネ基準に見合った設計	×	遮熱シートによる熱負荷の削減を提案できるようになった。 今後は、提案と採用を分けて表を作成し、採用率をみて、改善の話し合いを行っていきたい。
・ 設備の効率化（省エネ型照明など）の提案	○	
・ 節水型機器類の提案	.△	
・ 環境補助金の紹介・提案（おおさかスマートエネルギーセンター）	×	

【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無】

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、建設副産物
建設リサイクル法	建設副産物
騒音・振動規制法	建設機械の使用時の届出
消防法	危険物の保管
建築基準法	確認申請
顧客の要求事項	施工前の周辺からの要望（振動・騒音・施工時間・粉じん等） 省エネ設備の要望・提案など

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反の指摘、訴訟等は過去ありませんでした。



■代表者による全体の評価と見直し



本年は、電力と自動車による二酸化炭素排出削減が目標値を大きく上回った。今までの単なる節約だけでなく、サーキュレーター・ファンヒーターの導入などで実質的な削減方法を見いだすことができたのではないか。エコへの取り組みが徐々に浸透してきていると思われる。リサイクルへの意識も高まり、一廃、産廃とも業務の中でリサイクルが心掛けられているのではないか。そして、我々の実質のエコアクション活動の核となる設計・提案段階からの省エネ提案に関しては、思ったほど件数が伸び悩んだ。遮熱材・断熱材の積極活用でより快適な働く空間を提供する体制を構築しなければならない。営業活動からの段階でよりスムーズで魅力的な提案できるようになるために来期は展示会出展・設計マニュアルの作成などでよりレベルの高い業務が求められる。

■環境活動の取組



【社外に向けて環境活動のPR】

ロゴマークを使用し、現場やその他の方面にPRしていきます。



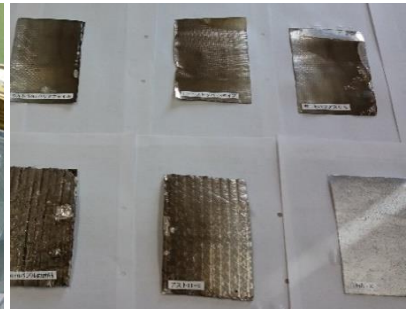
↑ ロゴマークシール作成しました。



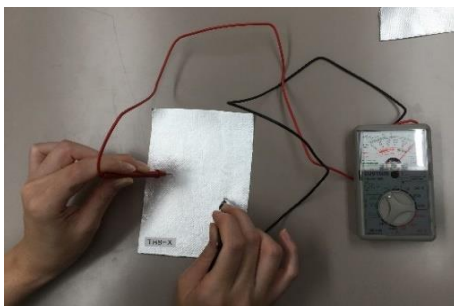
↑ 会社広報紙に記載しています。

【遮熱シートの性能実験】

省エネ基準に見合った設計提案のために、実際に遮熱シートの性能を確認しています。



↑ アルカリ性や酸性水に1日漬けて、遮熱シートの変化をみる実験を行いました。



↑ 電気を通し、電食性能について調べました。

(6) 事業年度

3月1日～翌年2月末日



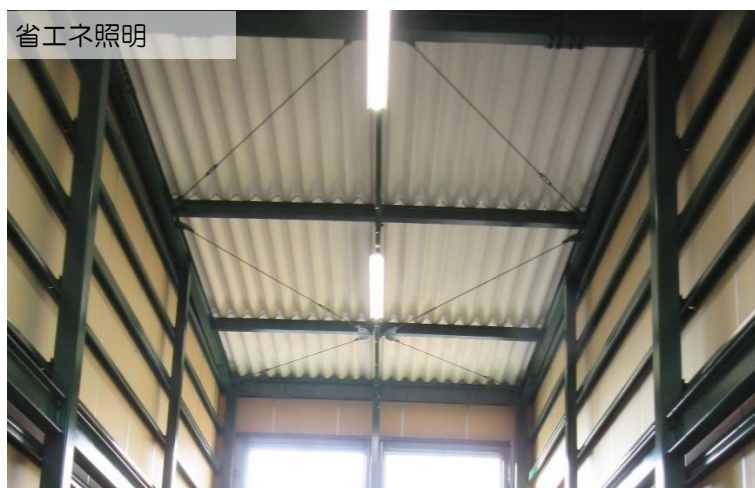
【環境に配慮した提案施工例】

天井裏遮熱シー



【環境に配慮した提案施工例】

省エネ照明



【環境に配慮した提案施工例】

高効率空調設備 省エネルギームエア

